

清水小校長室だより No.10

2019. 6. 20(木) 文責：筒井

明後日は夏至（げし）です

今年は6月22日が夏至です。夏至は季節の一つです。

季節と言えば、まず四季「春夏秋冬」ですが、それをさらに24に区切ったものを24節気せつきと言います。夏至はその一つです。他にも冬至や立春・立夏・立秋・立冬などがあります。



(幡多農体験2年 6/18)

夏至は6月21日が多いですが、年によってはその前後の20日や22日なることもあります。

24節気はどんなに決まっているかという、簡単に言うと【地球と太陽の位置関係】で決まります。地球は自転と公転を繰り返しています。

一日周期で地軸で一回転するのが自転です。これで毎日、朝昼夜を繰り返しています。

そして、一年周期で太陽の周りを一回転しています。これが公転です。この公転により地球と太陽の位置が変わります。少し難しくなりますが、地球から見ると（地球を一点に固定すると）太陽は地球の周りを回っているように見えます。

この太陽が通る（見かけ上の通り道）を【黄道こうどう】と言います。太陽はこの黄道を約一年かけて1周（360度）します。この360度を24等分した点をそれぞれ季節の名称に割り当てています。これが24節気です。つまり太陽が15度進むごとに新しい24節気せつきの季節がやってくるのです。

夏至は、昼間の時間が最も長くなる日です。

正確には、北半球では長くなり、南半球では短くなります。緯度が高くなるほど顕著になり、北極では一日中太陽が沈まずくびやくや「白夜」、南極では一日中太陽が昇りません。くきよくや「極夜」

来月の今頃は、もう夏休み一週間の短縮授業になります。本当に一日一日があっという間に過ぎていきます。ついこの間入学式や始業式をした感じなのに…。日々行事に追われてるようになります。

教務主任から毎週木曜日に翌週の予定表が配られます。毎日ほぼびっしり埋まっています。校内の行事、職員の出張・研修、訪問予定…各学級では日々の授業の他にも様々な行事があります。

この週末には、遅れている梅雨入りもあるかなと予想されています。

体調を崩しやすい時です。心身共に元気で夏休みを迎えたいですね。

えーっ! どうしよう! 大蛇?

人にはどうしても苦手な物が一つはあるというが、私とはとにかくヘビが苦手だ。前世でヘビに飲み込まれたのではと思うくらいヘビが怖い。



(救命講習 6/15)

休日は早朝から釣りに行って、もどってから弁当を持って畑へ行くのがこの時期の私の定番。お昼の弁当の後は天気がよければ太平洋を見ながらハンモックでラジコを聞きながら昼寝をする。私の至福の時間だ!

さて、本題に入ろう。少し前になるが、スイカ畑の草を引いていると、畑のすみに大きなヘビを発見した。(推定1m以上) すぐに飛び逃げて上の畑に避難した。15分ほどして様子を見に行くとまだその場所にいる。(おーはやくどっかに逃げてくれよ) また10分ほどして行くとまだいる。…(何か食べているのかな) 仕方ないので、ミカン畑の草刈りをすることにした。

1時間以上経って、行くとまだ同じ場所にいる。…そこでやっとおかしいことに気づいた。全く動いていない感じがしないのだ。

近くの山から長い竹を切って来て恐る恐るつついた。動かない。…(これはおかしいぞ) ゆっくりゆっくり近づいて1mくらいの棒で軽くたたいたが、やはり全く動かない。(ひょっとすると死んでいる?) さらに近づいて頭があるはずの部分をこわごわ見た。頭部辺りは柵をしている網の中でよく見えない。網をたぐってみると…頭が網に絡まっている。それで動けなくなって絶命したことが判明した。死後数日経っている。(科捜研風)

…さて、これからどうするか? とにかくヘビは見たくもないくらい怖い。このまま置いておいて、カラスなどが食べてくれるのか? 草でもかけて骨になって土に帰るまで待つか(何ヶ月もかかるなあ) ……あれこれ思案の末に決意した。

『よし、ヘビを埋めるぞ!』

網を大きく切った。巨大な(私にはそう感じた)ヘビはその全姿を表した。少し離れた場所に大きな穴を掘って、長い棒の先にひっかけてそこに移動した。そのまま埋めようと思ったが…網がからまったままでは天国に行くのが苦しそうだ。…何とか網を全て切り離して過酷な作業が終わった。

その後は、切り取った網を修繕して、この日は終わった。からまっていた網と使用したハサミは、袋に厳重に包んで、翌日のゴミの日に出した。

土曜日の豊かな心の参観日、救命救急講習・懇談へのご参加ありがとうございました。